



🏰 あけましておめでとうございます 🏰

☆12月までの貸出冊数(目標7,000冊!)☆

冬休みはゆっくり過ごすことができましたか? 新年、大原中図書館は、蔵書点検のため15日(水)からスタートします。
蔵書点検を終え、開館しましたら・・・

1-1	486冊	2-1	305冊	3-1	210冊
1-2	339冊	2-2	552冊	3-2	22冊
1-3	718冊	2-3	549冊	3-3	32冊
1-4	350冊	2-4	281冊	3-4	62冊
1-5	380冊	2-5	624冊	3-5	30冊
1-6	422冊	2-6	352冊	3-6	60冊
1-10	57冊	教師	232冊	計6,220冊 (学校間貸出58冊含む)	

◆本の福袋(毎日10袋限定)

◆図書館おみくじ・絵馬

を開催します(※24日まで)。
図書委員会制作のお正月飾りも賑やかです。新しい特集も組まれていますので、ぜひ図書館に遊びに来てください!

【2年に1度の蔵書点検があります】

今年は2年に1度の蔵書点検があります。そのため、1週間閉館して点検作業を行います。新年あけての開館は、**15日(水)**を予定しております。それまでご不便をおかけしますが、お待ちください。図書委員さんには、お手伝いいただくことが増えると思いますが、お仕事よろしくお願ひします。今回はボランティア隊も募集します。館内の美化のために沢山のお仕事がありますので、いつでも飯山まで声をかけてください。

【POPコンテスト上位入賞者☆投票結果】

♪グランプリ♪ 3年4組 Wさん

『最後のページをめくるまで』水生 大海著

♪準グランプリ♪ 3年4組 Kさん

『神さまのビオトープ』風良 ゆう著

♪第3位♪ 2年2組 Aさん

『これは経費で落ちません!』青木 祐子著

※今月いっぱい応募者による全作品を図書館のホワイトボードに掲示しています。
力作ぞろいですので、まだ見ていない人はぜひ見に来ててください!ビックリしますよ!



【🏰 図書館神社へようこそ 🏰】

本を借りた人に絵馬を差し上げます。ひとりひとつです。ぜひ新年の抱負や願ひ事を書いて、図書館を明るく飾りましょう🍡

先月は第2回「館長カフェ」にお越しくださり、ありがとうございました。参加者は17人で、サンタクロース論、大変盛り上がりました。第3回の日程が決まりましたらご案内します。みなさんぜひお越しくください。

「ふおんと（ほんと）の話！」

みなさん、「フォント」の奥深い世界を知っていますか？

昨年放映されたドラマ、『宙（そら）わたる教室』（※原作本が大原中図書館にもあります）で、登場人物に「ディスレクシア」といって、文字を読むことが困難な特性を持つ男の子が登場しました。

この男の子は、フォントを変えることで、それまで読むことが難しかった文字が、楽に読めることに気づきました。その後、彼はそのきっかけをくれた定時制高校の化学教師のもと、宇宙科学の世界に夢中になっていきます——。

「UD（ユニバーサルデザイン）」が読みやすいフォントの代表のようですが、実は人によっても違うそうです。以下に代表的なものを紹介します。

ふおんと（明朝体）

ふおんと（ポップ体）

ふおんと（UDデジタル教科書体）

※縦線が太く、横線が細い飾りのある書体が明朝体で、線の太さが一定で、飾りのない書体がゴシック体です。

様々なフォントで読んでみることをお試しください。
読みやすい字が見つかるかもしれません。